

情 報 公 開 文 書

研究の名称	妊娠期の魚介類および ω -3 系多価不飽和脂肪酸摂取と児のアレルギー疾患発症の関連（エコチル調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦
研究の概要	【研究対象者】 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）に参加する児のうち生産であったものおよび参加に同意した保護者 【研究の目的・意義】 魚に多く含まれる DHA・EPA といったω-3 多価不飽和脂肪酸（PUFA）は、代謝物の炎症性エイコサノイド（LTB5）を介してアレルギー症状の関与する可能性が示唆されています。我が国における食事からのω-3 PUFA あるいは魚の摂取とアレルギー疾患のリスクに関する先行研究からは、リスク低減をもたらすと報告がある一方、関連がないとする報告もあり、より大規模集団での検討が必要です。そこで、子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）に登録された約 10 万例の対象を用いて、妊娠中の母親の魚介類およびω-3 PUFA 摂取と出生児のアレルギー疾患および症状発症の関連を明らかにすることを目的に研究を行います。 【研究の方法】 エコチル調査に既に登録された対象者について検討します。エコチル調査では出生 6 か月後から半年おきにアレルギー疾患の診断や、アレルギー症状に関する質問票を送り、保護者から回答を得ています。この質問票には疾患罹患以外に、生活習慣や社会経済的要因など多数の情報収集を行っており妊娠中の魚介類およびω-3 PUFA 摂取量に関する情報も取得済みです。本研究では、すでに取得済みのデータセットを用いて解析を行い、追加の情報収集は行いません。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2025 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌、エコチル調査専用のホームページ、シンポジウム、広報誌、テレビ、ラジオなど様々なメディアで発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	質問票より得られた児が罹患したアレルギー疾患、アレルギー症状、妊娠中魚介類および ω -3 PUFA 摂取量、母親年齢、妊娠前の BMI、妊娠中後期の身体活動、婚姻状況、雇用状態、母教育レベル、アルコール消費、母のアレルギー歴、児の性別、在胎週数、分娩方法、出生体重、出生季節、同胞の有無、先天奇形の有無、集団保育利用、ペット飼育、世帯収入などの情報を用い、多変量解析を行います。また、他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	研究責任者 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関におけ	研究責任者 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦

る研究責任者氏名)	
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む) を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL:076-434-7277 FAX:076-434-5023 E-MAIL aktsuchi@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 土田暁子・助教